



1月30日、いこいの家では、西表島で紅露工房を営む石垣金星さんを招き工芸研修を実施しました。この日は糸芭蕉の活用方法である、芭蕉の茎皮を荒く裂いた糸の結び方と、芭蕉紙作りを行いました。糸の紡ぎ方は縦糸と横糸で結び方が違つたり、また地域によつても方法が異なることなどを教えてもらひながら、金星さんを手本にいろいろな結び方に挑戦しました。

芭蕉の糸は強靭なので荒く紡いで、のれんなどによく使用されるそうです。

芭蕉紙作りでは、これまで行つていた牛乳パックを使つた方法に加え、ソーダ灰で煮て細かく碎いた芭蕉の繊維を混ぜ、糊の代わりにカビーギーの葉を使い紙すきを行いました。芭蕉紙は他の紙に比べても強度が強いといいます。金星さんからは「紙すきをするには今日のような気温が一番良い、紙を早く乾燥させるには板に貼り付けたほうが早く乾燥する」などのアドバイスを受けながら、通所者のみなさんも芭蕉紙作りを行いました。



就労継続支援事業所 いこいの家通信

石垣金星さんを招き、工芸研修



金星さんを手本に、芭蕉の糸結びに挑戦

NPO法人結いの会 TEL:0980-84-1636
代表 大瀬守哲:090-8293-9462
<http://ikoi.xii.jp> yuinokai@mco.ne.jp